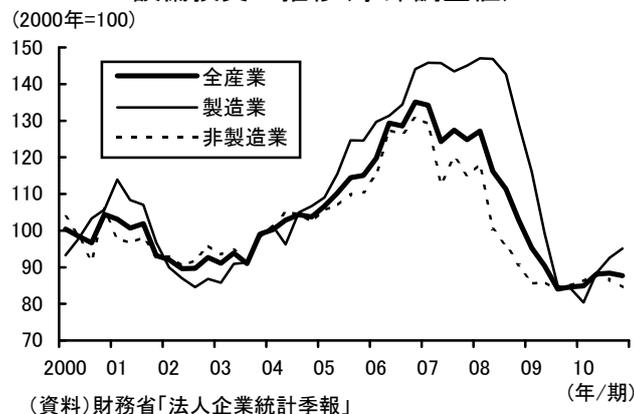


2010年10～12月期2次QE予測

- (1) 10～12月期の法人企業統計季報では、設備投資（季節調整値）が前期比+0.7%と、伸びが鈍化。製造業が回復した（同+4.1%）一方で、電気業や卸売・小売業を中心に、非製造業が減少（同▲1.1%）したため。
- (2) 今般の法人企業統計等を踏まえ、10～12月期の実質GDP成長率は前期比年率▲1.2%と、1次QE（同▲1.1%）対比、小幅下方修正となる見込み。①設備投資の下方修正（前期比+3.7%→+3.4%）、②在庫投資のプラス寄与縮小（年率寄与度+0.9%ポイント→+0.8%ポイント）が主因。

(図表1) 10～12月期法人企業統計季報
設備投資の推移(季節調整値)



(図表2) 10～12月期GDP統計予測表
<2011年3月3日時点の公表系列をもとに作成>

	前期比	前期比年率 (%)
実質GDP	▲ 0.3	▲ 1.2
内需	▲ 0.2	▲ 0.8
民需	▲ 0.1	▲ 0.2
個人消費	▲ 0.7	▲ 3.0
住宅投資	3.0	12.6
設備投資	0.8	3.4
民間在庫 (寄与度)	0.2	0.8
官公需	▲ 0.7	▲ 2.7
政府消費	0.2	0.8
公共投資	▲ 5.7	▲ 21.0
公的在庫 (寄与度)	0.0	0.1
外需 (寄与度)	▲ 0.1	▲ 0.4
輸出	▲ 0.7	▲ 2.8
輸入	▲ 0.1	▲ 0.5
名目GDP	▲ 0.7	▲ 2.7
デフレーター	▲ 0.4	▲ 1.5